

訪れたいまち

福島県会津若松市



磐梯山(左)と鶴ヶ城(右)



東北地方唯一出土の
三角縁神獸鏡
(福島県立博物館画像提供)

七のつく日に市が立った 城下町の中心・七日町

新編會津風土記の中に「北小路町ノ北二並ヒ大町札辻ヨリ西二往ク通ニテ越後出羽國ニ通ル街道ナリ旅籠屋多シ長七町十六間幅四間屋敷百四十九軒」とある七日町通り。越後街道、米沢街道、下野街道が通る西の玄関口として古くから開け、昭和の初めには市内屈指の繁華街でありにぎやかな通りとなっていた。

外来歩行者ゼロからの復活 大正浪漫調のまちづくり

しかしながら、「全国的なレベルで進行した中心市街地の衰退と自動車の普及などにより、通りは平成直前には7割が空き店舗、七日町駅は無人駅に。降りるのは学生のみ、駅前には放置自転車ばかりが目立ち、人通りのないゴーストタウンとなつた。子供会はない、青年会もなく、住む人は高齢者で現状をあきらめをもって受け入れていた(七日町通りまちなみ協議会長 渋川恵男さん)

四世紀に造営された前方後円墳(全長114m)大塚山古墳からは三角縁神獸鏡が出土。古来からその時々の権力者誰もが欲し、治めた要衝の地 福島県会津若松市

幕末戊辰戦争のあと付近は焼け野原、

残されたのは農民と商人、そこから昭和に向け再生、繁栄した。「そのため現存する建物は、明治・大正・昭和にわたる建造物が混在する。それを活かさないか。」「七日町通りまちなみ協議会」を中心に、人を呼び込む方法として、「店舗の外観を『大正浪漫溢れるまちづくり』のコンセプトで改修してまちのイメージを変えることを考えました」(渋川さん)。そして、「高度成長期の名残である画一的なモルタル造りの外観やシャッターを取り外し、幸いにもその下に残っていた大正・昭和初期の古き良き時代を彷彿とさせる木造建築に再生させるまちづくりに取りかかり、同地区の景観協定が市に認定されたことを契機に、補助金を投入してそれらの素材に手を加えることで、ま

ちなみを再構築しました(会津若松市建設部都市計画課 物江隆之さん)

その結果、現在



左から物江さん、渋川さん、山内さん、芳賀さん



駅カフェ内部。会津17市町村のおみやげ品が並ぶ



1 七日町駅(駅カフェ)
全会津市町村のアンテナショップ

七日町駅(駅カフェ)

2 宿たかや



3 山田民芸
昔ながらの製法で起上り小法師(おきあがりこぼし)を製造販売。もともとは赤色のみ

2 宿たかや
家族的なおもてなし



山田民芸 3

七日町通り
大正浪漫のまちづくり

5 滝谷建設工業
4 白木屋漆器店

7 カフェバー UNO

8 澁川問屋

9 阿弥陀寺



除夜の鐘は、並べば誰でも突ける。突き終わるのは2時過ぎに。鳴り続く鐘、会津が煩惱の多い土地ということ...ではない



景観指定建造物。御三階は江戸後期(文政元年以前)の建築。明治3年に会津若松城本丸より移築。木造3階建だが、内部は4層で中3階がある。密議所または迎賓館的な使われ方をしていたといわれる



8 澁川問屋
景観指定建造物。創業は明治初年で、店舗は大正時代に建築。(詳細不明) 木造2階建の和風建築。山国の会津の食文化に欠かせない干物を一手に扱っていた



7 カフェバー UNO
地元の人にも人気



鶴ヶ城

6 蒲生氏郷の墓
興徳寺。京都で急死した氏郷の遺髪が納められる。氏郷は興徳寺以外の寺を城外に移設。豊臣秀吉が滞在時、臨時の政庁を設置した



新選組慰霊塔(上)、如来堂(下)
齊藤一。元は山口一。のち山口二郎、一瀬伝八などと変え最後は妻(高木時尾)の母方の姓藤田を名乗る。藤田五郎。鳥羽伏見、甲州勝沼、会津、西南を生抜き、東板橋の新選組慰霊塔建立時も生存。大正四年東京で没。墓は会津若松市の浄土宗阿弥陀寺に、如来堂は戦国未完の神指城二の丸に当たり、会津新選組隊長時の激戦の地。奇襲を受け生き残ったのは奇跡

「七のつく日は訪れる人に甘酒をふるまうようにし、もちろん甘酒は町内の酒屋さんで作ったもの。会津若松新七福神も新たに構築。まず町内の人で回った。楽しかった。七福神の装いをして通りをパレードもした。もともと楽しかった。町の人が楽しまないとイベントが魅力的なものにならない」(同協議会女性部副部長 山内恵子さん)。「地産のものでおもてなししたい。八重が作ったジンジャーブレッドにも挑戦し好評」(同協議会女性部長 芳賀佳子さん)。「犬を連れて車で来る人がたくさんいるので託児所ならぬ託犬所を作り

ソフト面を支える女性部の皆さん
おもてなしでさらなるにぎわいを

では七日町通りはまちなか観光の拠点として年間約25万人の交流人口を呼び込み、まちは復活した。



さざえ堂
寛政八年建立。旧正宗寺三匠堂(国重要文化財)。二重螺旋構造で世界的にも珍しい建物



4 白木屋漆器店
景観指定建造物。大正三年建築。木造洋風



5 滝谷建設工業
景観指定建造物。昭和二年建築。旧郡山橋本銀行若松支店。洋風

ちょっと足を延ばして



道の駅 あいづ 湯川・会津坂下



神田武宜 駅長

「ここは会津のだ真ん中…」の文字通り、会津盆地の中央に位置する地域の特産物を活かしたおいしい道の駅として農家レストランなどの飲食コーナーが充実。農産物マーケットと物産館には新鮮な果物や野菜のほか、加工品、こだわりのお菓子やお土産の品々が並び、伝統・革新・チャレンジ精神あふれる魅力的な売り場となっています。開業後まだ日も浅く至らぬ点も多くあるかと思いますが、スタッフ一同、笑顔でお待ちしております。

福島県河沼郡湯川村
大字佐野目字五丁ノ目78-1
TEL : 0241-27-8853
<http://heso-aizu.jp/>



鶴ヶ城再建50周年記念イベントを市民とともに

その元日登閣を行う鶴ヶ城。今年は、

たい(山内さん)。「通りは電柱がまだある。消雪設備も老朽化し散水式は店舗の出入り口が凍結し危険で本末転倒。道路管理者(七日町通りは国道253号線)管理者は福島県と何度も話し合い無散水方式を検討してもらったことになった。ありがたいことです」(沢川さん)

冬も安全に通行できる通りとなれば、年末年始に七日町駅でカウントダウンし、阿弥陀寺で除夜の鐘を突き、さらに元日登閣することもよりやりやすくなる。

鶴ヶ城天守閣再建50周年。「輩名氏、伊達氏、蒲生氏、上杉氏、加藤氏、保科・松平氏と統治者を変え、そのたび大名について移動する商人や職人たちは新しい文化と技術を運んできた」(鶴ヶ城ポランティアガイド 鈴木都志美さん)

明治7年に廃城となるも市民の熱意で昭和40年に天守閣が再建された。「本丸の石垣は整備した大名によつて積み方が違う。クルスにも見える十字が記された石、ハート(猪目)形の石、化粧石など。誰が何のために施したのか、それをフィールドワークするだけでも楽しい」(鈴木さん)

「4月1日の展示リニューアルカー

ンを皮切りに、春は千本の桜が咲き誇る鶴ヶ城さくらまつり、秋にはまち全体で楽しめる会津まつり……とイベントが目白押しです。どうぞ会津若松にお越しください」(会津若松市観光商工部観光課 渡辺久江さん)



鶴ヶ城常設展示リニューアルイメージ図

鶴ヶ城さくらまつり

平成27年4月10日(金)~5月6日(水・祝)

<主な行事>

- 会津十楽春の陣
4月から6月の土・日・祝日 鶴ヶ城本丸
- 鶴ヶ城公園ライトアップ
4/10~5/6 鶴ヶ城公園
- 子ども神輿
4/19 鶴ヶ城本丸周辺
- 会津清酒で花見酒in鶴ヶ城
4/25 鶴ヶ城二の丸
- さくらまつり大茶会
4/26 鶴ヶ城本丸 御薬園



問合せ

鶴ヶ城さくらまつり連絡協議会
(事務局)会津まつり協会
TEL : 0242-23-4141

鶴ヶ城の不思議

一 天守の瓦が赤い？

二 ハート(猪目)形の石？

重要な石垣にはハート形の石が

三 石にクルス(十字)？

鶴ヶ城の石垣にはクルスの刻みの

あるものがあちこちに。ちな

みに蒲生氏郷はキリシタン

大名

四 月見櫓はデイトコース？

本丸東南隅の月見櫓からの

ながめはロマンチックだった

五 茶の湯は政(まこと)？

本丸の東には、蒲生氏郷

(利休七哲の一人)が会津

に招いた千小庵が造った

茶室隣閣が。行政の中核

本丸になぜ茶室が

詳しくは鶴ヶ城ポラン
ティアガイド鈴木都志美
さんに聞いてみよう



全国各地で働く
国土交通省職員が
地元を紹介!

MLIT レポート 福島県

会津盆地を守る縁の下の力持ち～大川ダム～

Reporter

北陸地方整備局 阿賀川河川事務所
大川ダム管理支所長

高橋 明



今話題の「ダムカード」

会津地方には会津若松市の鶴ヶ城や飯盛山、下郷町の大内宿や塔のへつりなど、魅力ある観光地が数多くあります。また、東山温泉を始めとして、芦ノ牧温泉、湯野上温泉などゆつくりくつろげる温泉地も充実しています。ぜひ会津へ、そして大川ダムへ遊びに来てください。ダムカードも配布しております!

定です。

大川ダムは、阿賀野川水系阿賀川(新潟県内では阿賀野川)の福島県会津若松市と下郷町の境に位置し、昭和33年9月の台風22号による洪水を機に建設が計画されました。昭和48年より建設に着手し、昭和63年3月に竣工、4月から管理を行いました。今年も『若郷湖さわやかフェスティバル2015』を開催予定です。

毎年7月下旬は、「森と湖に親しむ旬間」として全国のダムでさまざまなイベントを実施しています。大川ダムでも、平成26年7月に「森と湖に親しむ旬間実行委員会」主催による、『若郷湖さわやかフェスティバル2014』を開催しました。当日は雨にもかかわらず多くの方々に、ダム見学会・木工作教室・ダム湖巡視体験などを楽しんでいただきました。

ダム管理開始以降、最大の洪水となった平成14年10月の台風21号による洪水では、上流からの水をダムに貯め、下流河川の水位を約1.4m下げ、会津盆地の洪水被害を防ぐことができました。近年、全国各地で豪雨などによる災害が起きています。大川ダムはこれからも、地域住民の安全・安心のために、適切なダム管理を実施していきます。

「洪水調節」、「流水の正常な機能の維持」、「かんがい用水」、「水道用水」、「工業用水」、「揚水式およびダム式の発電」です。



開会セレモニー(ゆるキャラも参加)

若郷湖さわやかフェスティバル2014



ダム見学会(秘密基地に潜入だ! 監査廊探検)

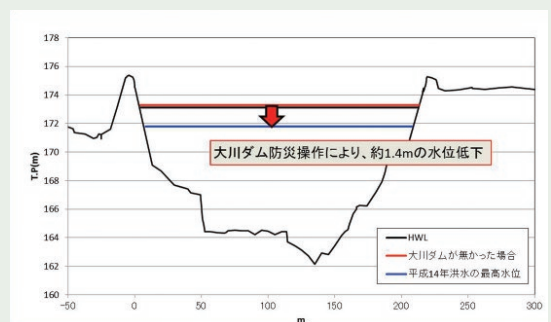


間伐材を利用した木工作教室

※「若郷湖」とは、大川ダム湖の名称



大川ダム全景



平成14年洪水の大川ダムの効果 (喜多方市山科地先)

検索 阿賀川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/agagawa/>

